

1. 概況

当月の通信機器[国内]の受注・出荷は693億円/前年同月比9.6%減と2か月ぶりに減少。
 有線端末機器は、VoIP-GW(同比19.2%減)、ファクシミリ(同比8.0%減)など、すべての機種が金額で同比を下回ったため、全体では226億円(同比6.2%減)と減少した。
 移動体端末機器は、12月末に総務省が施行したスマートフォン値引に関するガイドライン改正に向けての駆け込み需要が落ち着き、金額、台数ともに減少したため、全体では167億円(同比19.3%減)と減少した。一方で、高価格帯端末の出荷率が高かったことから、携帯電話の平均単価は前年比、前月比ともに増加した。
 有線ネットワーク関連機器は、構内用電子交換機(同比23.1%増)、ボタン電話装置(同比4.2%増)、PON/MC(同比12.3%増)が同比を上回ったが デジタル伝送装置(同比29.8%減)などが同比を下回ったため、全体では151億円(同比13.0%減)と減少した。
 無線ネットワーク関連機器は、基地局通信装置(同比45.8%減)が同比を下回ったが、衛星系の地方自治体や民需(その他民間)向け防災関連などの需要増に伴い固定通信装置(同比149.2%増)が同比を大幅に上回ったため、全体では106億円(同比0.3%増)と増加した。
 その他ネットワーク関連機器は、民需(その他民間)向けネットワークやデータセンターの設備増強により、ルーター(同比18.4%増)、LANスイッチ・ハブ(同比95.1%増)とも同比を上回ったため、全体では40億円(同比45.7%増)と増加した。
 通信機器用部品は2億円(同比84.1%減)と減少した。

2. 受注・出荷実績

(金額単位:百万円)

機種別	月・期別	12月	前年同月 比増減率(%)	4月～12月 累計	前年同期 比増減率(%)	1月～12月 累計	前年同期 比増減率(%)
通信機器		69,284	-9.6	657,433	-2.0	927,688	-13.7
端末機器		39,274	-12.2	346,441	-6.2	466,423	-11.6
有線端末機器		22,571	-6.2	189,251	1.8	264,149	1.0
移動体端末機器		16,703	-19.3	157,190	-14.3	202,274	-23.9
ネットワーク関連機器		29,842	-3.1	309,658	6.0	457,239	-14.4
有線ネットワーク関連機器		15,137	-13.0	141,999	-6.2	216,089	0.8
無線ネットワーク関連機器		10,674	0.3	136,434	20.6	198,584	-28.4
その他ネットワーク関連機器 (ルーター・LANスイッチ等)		4,031	45.7	31,225	12.7	42,566	0.4
通信機器用部品		168	-84.1	1,334	-86.1	4,026	-70.7

(注) 1. CIAJ自主統計に基づく 2. 移動体端末には市民用トランシーバー、アマチュア用通信装置を含まず
 3. ボタン電話装置は、端末機器に含めず、ネットワーク関連機器に含めた(2018年4月から)

3. 受注・出荷推移

